

# 令和元年度 島根県オープンデータ研修会 開催レポート

R02.03.11 島根県地域振興部情報政策課

## 1. 概要

島根県は、令和元年12月25日（水）、県庁において、県及び市町村職員を対象としたオープンデータ研修会を開催しました。

研修会では、総務省地域情報化アドバイザーである（一社）九州テレコム振興センター 主席研究員 井上英幸氏を講師にお招きし、オープンデータに関して講演いただきました。

本研修会は、県職員が14名（うち、テレビ会議による参加が1名）、市町村職員が4市2町より10名（うち、テレビ会議による参加が2名）の計24名の参加がありました。

## 2. 研修会の様子

### （1）導入説明（県情報政策課）

- 総務省が作成した動画※を視聴する等、オープンデータに対する理解を深めました。

※「ゼロから始めるオープンデータ～地方公共団体の皆様へ～」  
 (<https://www.opendata-training.org/>で公開中)

※ 出典：総務省オープンデータ研修ポータル



### （2）講演（九州テレコム振興センター 井上英幸氏）

- 講師の井上氏には、「デジタル新時代の業務改革とオープンデータについて」と題して講演いただきました。
- 「所有データを公開してくれと言われ戸惑っているのでは？難しく考えないで欲しい」と井上氏。「普段の業務でデータを使う → 使ったものは出す（オープンにすること）を、まずは徹底してほしい」と談。
- このためには、「庁内で保有するデータを徹底してデジタル化」 → 「共有・活用による横連携へ！」という取組の方向性について示唆いただきました。



↑「地方で自治体の存在は大きい。リーダーシップを発揮してほしい。」と自治体の勤務経験を踏まえ参加者にエールを送る井上氏

### (3) ミニワークショップ

- 島根県では、職員がデータ活用の重要性に気付き、オープンデータを含めたデータ活用の推進を目的としたワークショップ※に取り組んでいます。

※「平成31年度島根県オープンデータ活用庁内普及事業」として実施。事業の成果品等の電子データをオープンデータ化しています (<https://shimane-opendata.jp/db/dataset/080024>)

- 研修会では、県のワークショップの取組状況について説明するとともに、参加者にも60分程度の“ミニワークショップ”を体験していただきました。「紙が使えなくなる将来」を想定し、それに向けて備えていくべきことを議論しました。



↑「字が汚くても恥ずかしくなくなる(笑)資料の検索が速くなる。標準化やルールの整備が必要。」と、楽しみつつもデータ活用の本質を突く議論が展開



↑「紙が使えないといろいろ困るけど、まずは紙を使わない研修から始めては？」という発表に研修担当者はギクリ

### (4) 事例紹介（総務省 中国総合通信局 福田 情報通信部長）

- 当日は、令和元年12月に取りまとめられたばかりの「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」まとめ概要（案）を参加者へ配布。研修会に同席されていた、中国総合通信局 福田部長より、とりまとめの概要について解説していただきました。



↑「取りまとめの成果は広く周知しつつ、本省等にもフィードバックし全国に普及したい」と中国総合通信局 福田部長

#### 【中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブルとは】

中国地域における地方公共団体のオープンデータへの取組みの加速化、その利活用推進を目的に設立。(事務局は中国情報通信懇談会)令和元年度は、防災(公共交通、水害)をテーマに、6月から12月まで4回にわたって議論されてきた。島根県もテーブルメンバとして参加。

※詳細は、中国総合通信局HPを参照

[https://www.soumu.go.jp/soutsu/chugoku/hodo\\_2019/01\\_sotsu08\\_01001025.html](https://www.soumu.go.jp/soutsu/chugoku/hodo_2019/01_sotsu08_01001025.html)

#### ※ 研修資料をオープンデータ化しています

オープンデータ研修で使用した島根県の資料は、「島根県オープンデータカタログサイト」において、出典が記載されているものを除いて CC-BY ライセンス（出所明記で自由に二次利用可能な規約のこと）で公開しています。 (<https://shimane-opendata.jp/>)

ぜひ一度ご覧ください！